

やまぐち伝統芸能まつり

山口県内には、様々な無形(民俗)文化財が伝承されています。そのそれぞれが、各地域の豊かな風土を土壌に独自の発展を遂げた地域アイデンティティーそのものともいえるべき貴重な財産です。今回出演する団体は、いずれも歌舞伎、人形芝居、神楽、狂言のジャンルで山口県を代表する指定文化財を伝える保存会の皆さんです。県内に伝わる多様な文化財に触れることで、地域の大切な伝統文化の魅力を再発見し、保存・継承していくことの意義を感じ取っていただければ幸いです。



山口県指定無形民俗文化財
島田人形浄瑠璃芝居保存会(光市)

里人から「祇園さま」として親しまれ敬われてきた松浦神社で、8月4日と5日に奉納上演される人形浄瑠璃芝居です。室町時代、島田川河口の島田庄に疫病が流行したときに、農民たちが、病気が治まることを願い、串を刺したキュウリに着物を着せて人形とし、人形浄瑠璃芝居を奉納したのがはじまりといわれています。



山口県指定無形民俗文化財
山代白羽神楽保存会(岩国市)

9月17日の人丸祭宵祭、11月2日の白羽神社秋祭夜殿祭、12月13日の天神祭宵祭に、白羽神社舞殿で舞われる神楽です。江戸時代に、相次ぐ飢饉や疫病の流行に悩まされた農民が、穀物の豊かな実りと悪疫が逃げ去るように願いをこめて、12座の神事として始めたと言伝えられ、後に芸州の神楽を取り入れたと言われています。



山口県指定無形民俗文化財
大波野神舞保存会(田布施町)

大波野の4地区に伝わる神楽で、お囃子に使う鉦に刻まれている銘から、起源は天明元年(1781)以前と考えられ、舞子の持ち物が重んじられることや、曲目に出雲神話が語られることなどから、出雲流の神楽に属するものではないかといわれています。演じ方に中世以前の芸能を思わせる部分が多く残っていて、注目されています。



山口県指定無形文化財
山口鷺流狂言保存会(山口市)

江戸時代の狂言には、大蔵・鷺・和泉の3流がありましたが、江戸幕府の崩壊によりその後ろだてを失い、大蔵・和泉の2流は復興したものの、鷺流は中央ではとだえしました。その中で、山口の鷺流狂言は、萩藩お抱え狂言に源流を持ち、新潟県佐渡などとともに、全国で数少ない伝承地の一つとして、今日まで大切に伝承されています。



山口県指定無形民俗文化財
俵山女歌舞伎保存会(長門市)

嘉永4年(1851)8月の火災で焼けた俵山温泉の復興を機に招かれた歌舞伎興業の一座が、各地での巡業を終えると俵山に帰って、神社で芝居を奉納をするようになり、明治以降、この地に住み着いたといわれています。一座は、女性ばかりで作られていて、「雛勝芝居」、「俵山女歌舞伎」などと呼ばれ、今も、その芸が伝えられています。

ー山口県伝統芸能保存会連絡協議会ー

山口県伝統芸能保存会連絡協議会は、歌舞伎、人形芝居、神楽、狂言などの「舞台芸能」に関係する12の山口県指定文化財の保存会によって、平成28年にルネッサながとを事務局に結成されました。以後、保存会同士の交流や情報交換を通じて、伝承活動の活性化を図るとともに、県内の伝統文化の保存・継承に向けた活動を進めています。やまぐち伝統芸能まつりは、その活動の一環として開催するもので、今年で8回目を数えます。近年は、県内全域への伝統芸能の理解促進を目的に、県内巡回公演として、加盟保存会を中心とした伝統芸能の実演を披露しています。

やまぐち伝統芸能まつり

日時:令和8年3月21日(土) 13時開演(開場30分前)

会場:ルネッサながと

料金:無料

ルネッサながと

山口県長門市仙崎10818番地1

電話 0837-26-6001

メール info@renaissa-nagato.jp

HP <https://www.renaissa-nagato.jp/>